

事業報告

（ 自 平成22年 4月 1日
至 平成23年 3月31日 ）

1. 事業の経過と成果

平成22年度の日本経済は、昨年度と同様にデフレスパイラル、設備投資の抑制や雇用不安、不動産市況の低迷が続いており、厳しい経済状況にあるものの、景気が底を打ち、僅かながら回復の基調が実感できるようになってきていました。

しかしながら、期末に発生した東日本大震災は未曾有の被害をもたらし、日本経済、そして世界経済にも大きな影響を及ぼすこととなりました。

このため、再び国内景気は混沌とし、さらには電力不足などの要因が経済の先行きをより不透明にしていると言えます。

当社は不透明な経済状況の中、変わり行く外部環境に適切に且つ迅速に対応し、新たな収益を確保できる体質の構築を目指し、今後とも「かながわサイエンスパーク」の中核的事業主体として科学技術の発展と地域経済の活性化に寄与してまいりたいと考えておりますので、引き続き関係各位のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

当期の収支状況は以下のとおりであります。前期比減収減益となりましたが、15期連続で利益計上をすることができました。これにより、今年度も継続的な配当を実現することが可能となりました。

当期の売上高は1,058百万円となり、費用面では、売上原価は698百万円となり、当期の経常利益は79百万円、法人税等控除後の当期純利益は42百万円となりました。

2. 会社に対処すべき課題

当社は、研究開発型企業の集積拠点・新産業創造基地として位置づけられる「かながわサイエンスパーク」の中核的事業主体として、これまで培ってきた経験とノウハウを基に時代のニーズに対応する創意工夫等により、さらに多くのベンチャー企業の創造・成長支援を進め、地域経済の活性化に寄与してその社会的使命を果たし、持続的発展のある企業として、事業展開を推進してまいりたいと存じております。